

令和7年度第1回 島根支部健康づくり推進協議会の議事概要

開 催 日	令和7年9月4日（木）
場 所	サンラポーむらくも 彩雲
出 席 委 員	伊藤委員、梶谷委員、高梨委員、寺本委員、永江委員、増原委員、 三明委員、村下委員（敬称略、五十音順）
議 題	議題1．保健事業の状況について 議題2．健康経営比較分析 ＜経年推移における集計＞ 議題3．令和6年度 血糖リスクの他支部との比較による地域要因 の分析結果について
議 事 概 要 (主 な 意 見 等)	議題1．保健事業の状況について [保健医療関係者] ・新施設を今年度より稼働させている。健診機関として、未受診者の受診機会提供、保健指導の充実のために今後寄与していきたい。 [行政] ・生活習慣病予防健診の受診率は地域別や業態別で違いがあるのか。 【事務局】 ・地域別だと県西部地域の受診率は低い傾向にある。また、松江市は平均を下回っている状況。業態別についてはデータを確認し、必要に応じて業界団体に働きかけを行うなどにより今後も対応していきたいと考えている。 [行政] ・県西部では医師の確保が難しい現状がある。健診機関の医師も同様であり、必要な際には協会けんぽとともに出向いて対応していきたい。 [行政] ・当日の特定保健指導は集団健診の実施機関が行うのか。直営で実施する場合の違いは。 【事務局】 ・当日の保健指導実施可能な機関は9機関であり、それ以外の機関で健診を行った場合は直営の保健師が実施している。 [行政] ・ヘルスマネジメント認定事業所の数が伸びないことについて、認定項目のうち実施が難しい項目があるのか。

【事務局】

- ・認定の制度自体の周知が十分でなかったことも関係しているように思われたため、今年度、宣言事業所へ周知も含めて勧奨を行った。また、昨年認定更新の際は、特定保健指導の率が達しない事業所が多かった。

議題 2. 健康経営比較分析 <経年推移における集計>

[行政]

- ・認定事業所の生活習慣の指標がよいことについて、以前、認定事業所にヒアリングをしたことがあるが、共通して言えるのは健康に関する情報発信の回数が多いことである。このことにより従業員の閲覧機会も増え、健康への意欲が高まると感じている。島根県としても取り組みが進んでいる事業所と意見交換を行い、施策の検討をしていきたい。

[健康保険委員]

- ・先日送付された事業所カルテで自社の状況を確認すると、平均値よりも悪い項目が多かった。健康づくりの取り組みを進めているものの慣れからか社員からのリアクションが見えにくい。社員の行動の変化がみられるようなアプローチの検討を行いたい。また、効果的なアプローチ方法があれば知りたいと思う。

[健康保険委員]

- ・「1日30分以上の週2回の運動を実施しているか」の項目について、社内でも運動のきっかけとなるようなものを用意しているが継続が難しいと感じている。協会けんぽのLINEでの情報収集やYouTubeの運動動画を活用するなど、検討したい。

[被保険者]

- ・P15,16の運動の項目について、健診の受診率が非宣言事業所は低く、非宣言事業所の従業員のうち健診を受けている健康意識が高い層が生活習慣の項目で良い方に率を引き上げているのではないかと。

【事務局】

- ・当協会の健診を受診しない方のデータは不明なため、まずは全体として健診受診率を上げる取り組みを進めていきたい。また、宣言の有無にかかわらず、全体の運動習慣改善への取り組みも進めていきたい。

[事業主]

- ・事業所カルテを見て、支部の平均と比較した自社の状況を確認することは、社内での健康づくりの取り組みを進めていくきっかけとなる。
- また、ストレスチェックが50人未満も義務化されたことに関しても、集団分析の結果をもとに生かしていくことができるのではないかと考えている。ぜひ、今回の分析についてもデータを使ってほしい。

議題 3. 令和 6 年度 血糖リスクの他支部との比較による地域要因の分析結果について

[学識経験者]

・県の栄養調査員として調査を行った際、対象者は調査されることを意識しているため、野菜摂取量や塩分摂取量等の項目について実情は数値よりもっと悪いように思う。

島根県が情報提供サイトとして運営する「しまめ MAME インフォ」でも減塩をテーマとした資料を担当し作成する予定となっている。ぜひ活用してほしい。

以上